

担当者	学年	科目名	学生のコメント	担当教員の回答	
島野	2	流れ学(2)	2号館授業最高！！毎回の小テストも難易度的にも適度で良かった。	<p>授業をわかりやすいと評価してくれる諸君、大変ありがたく思います。ただ、難解なものに喰らいついて、脳みそが沸騰するくらい頭をひたすら使い、七転八倒しながらそれを我が物にするというある種の“見性”体験を若いうちに皆さんにたくさんしていただきたいと教員としては熱望しています。皆さんのさらなる研鑽を望みます。</p> <p>“雑談”、“説教”あるいは“余計な話”という言葉がコメント中で使われているのは、諸君が不必要なものと思っているからなのでしょう。しかし、これらはすべて意図して授業内容に組み入れたものです。社会に出て一人の技術者として活躍するためには全人的な教育が不可欠であり、一見して学修内容に関係が無いように思えるものでも技術者として、あるいは社会人として心得ておくべきことはたくさんあります。特に物事を見る目やセンスは重要です。そうしたことを学ぶのが工学部であり、いわゆる“お勉強”だけをするところではないということを理解してください。さらに、諸君の中には学ぶ姿勢や態度において大きな課題を抱えている学生も多いことから、あえて耳の痛いことも言いました。答えだけを求めて、自分で考えることを放棄するような勉強の仕方は間違っているという話を色々な角度から繰り返したのはそのためです。もちろんそういう話を聞くのは諸君にとって決して愉快的なことではないでしょう。しかし、不愉快だという感情だけにとらわれて諸君たちよりも経験豊富な教員の話やアドバイスを不必要なものとして無視しているのだとしたら、非常にもったいなく残念なことです。自らを客観視して成長していただきたいと切に願っています。</p>	
			非常に分かり易かった。		
			先生の授業はわかりやすく、楽しいので好きです。		
			また島野先生の授業をうけたいと思いました。		
			他の教員と比べると注意しなければならない箇所を丁寧に教えてくれるので、より理解しやすかった。ただ、少し脱線することが多かったかな(理由:雑談)		
			授業中の説教はイヤでしたが授業はわかりやすくて良かった		
			いい事言っているのはわかるけど余計な話が長い		
			時々小さい時(u2←ココ)が見づらかったです。		教室の広さの関係で字が見づらい席はあろうかと思えます。PPTでなるべく大きいフォントを使うように心がけていますが、学生諸君も前の席に座るなどの対応をしてくれたら有りがたく思います。
			もう少しスライドの文字を大きくして欲しい。		
			アンケートめんどい		
アンケートいらなと思います！					
3	熱流体システム	今まで学んだ熱力学や流れ学の実用的な問題が多く、今後にとても役に立つと感じました。			
		今後の研究に役立つかもしれないと思う内容の授業だった			
		スロート部の話はロケットの噴出口の形状の謎が解決でき、面白かったです。ありがとうございました。			
		島野先生の講義はおもしろくて楽しかった。			
		日常生活での物理現象を取り上げて講義を受けたのでおもしろかった。			
		講義はいつも通り大変分かり易く親切で良かったです。配布資料の字が潰れて見えないことがあるので改善できればお願いします。ありがとうございました。	印刷物の文字の大きさについて、PPTのソフトウェア的な問題やプリンタのハードウェア的な問題がありますので完全に問題を除去するのは難しいと思いますが、改善のために努力します。		

1	技術日本語表現技法	レポートは大変だったがやりがいがあった。プレゼンは緊張して練習も大変だったが良い経験になった。今後のためになると思った。など(16名)	それはよかったですね。学んだことを今後の学修に活かして下さい。	
		説明が丁寧でわかりやすかった。楽しい授業だった。など(5名)	私の教え方を好意的に評価してくれることは嬉しいと思います。しかし、試験のスコアは十分な人ではない人が多数いました。試験の結果が良かったのなら結構です。しかし、楽しいと感じながら期末試験の出来が悪かった人は、簡単に理解できたと思わずに、内容をよく吟味して十分な理解をするように務めて下さい。	
		課題が多くて毎回大変だった。辛かった。準備の時間が足りなかった。発表をうまくできなかった。など(23名)	課題や発表を大変だったと思う人は、この授業で鍛錬する必要があったということです。この授業で学んだことを今後活用することができれば、学習の成果があったということになります。	
		月曜日の1時限目は大変だった。(1名)	日曜日の夜は早く寝ましょう。	
		レポートの修正はもっと厳しくしてほしい。(1名)	よりよいレポート作成のために助言を求めることは大いに歓迎します。遠慮せずに先生に相談して下さい。	
		発表順を当日でなく事前に明確に決めてほしい。(1名)	人数が多いので複数回に分けて発表を行う必要があります。授業中も説明しましたが、発表順序による不公平を避けるために、当日決めることにしています。	
		授業スライドは見やすかったが、小テスト解説時のワードの文字がちいさく見づらかった。小テストの解説もスライドでやってほしい。(1名)	次年度資料ではぜひ検討したいと思います。ただ、文章量、図表、数式など情報量によって、スライドでは逆に見えずらい場合もあるので、一概にパワーポイントが良いわけではないことは理解して下さい。	
元気ですか？(1名)	はい、元気です。			
野中	2	システムダイナミクス及び演習	授業は少し難しいと感じたがおもしろかった。(2名)	それはよかったですね。学んだことを今後の学修に活かして下さい。
			説明はわかりやすかった。教え方が丁寧だった。など(7名)	私の教え方を好意的に評価してくれることは嬉しいと思います。しかし、試験のスコアは十分な人ではない人が多数いました。試験の結果が良かったのなら結構です。しかし、楽しいと感じながら期末試験の出来が悪かった人は、簡単に理解できたと思わずに、内容をよく吟味して十分な理解をするように務めて下さい。
			難しかった。量(講義内容、プリント)が多くて大変だった。など(21名)	グラフを描いて学ぶ部分では必然的にプリント量は増えます。授業内容が難しかったと思う人は、この授業で鍛錬する必要があったということです。この授業で学んだことを今後活用することができれば、学習の成果があったということになります。
			試験が難しかった。など(4名)	試験ではこの授業で最低限学んでほしいことを出題しています。試験のスコアが悪かった人は、もっと勉強して自己鍛錬に励んでほしいと思います。
			授業のスピードが早かった。(1名)	学部の標準的なカリキュラム内容になっていますので、特別にスピードは速くないと思っています。プリントの数が多かったので、スピードが速く感じたのかもしれませんが、なお、スピードは「早い」ではなく「速い」と表記します。
			半年間ありがとうございました。(1名)	今後も勉学に励んでください。
			今後役に立つと思った。(2名)	是非役立ててください。
			シミュレーションプログラムの使い方をもう少しわかりやすく説明してほしい。(1名)	シミュレーションの演習中は、私もTAの先輩も教室内を巡回していました。不明な点があれば、臆することなく質問してほしいと思います。
			グラフ作成プログラムをもっと汎用性のあるものにしていただけると…(1名)	使用しているグラフ作成プログラムのgnuplotというソフトは、理工系では非常に有名なソフトで定評があります。新しいソフトは慣れるまでに時間がかかりますが、初期投資だと思ってよく練習してほしいと思います。使えるようになると、大変便利だと思います。
			シミュレーションプログラムを使うときにはもう少し時間がほしい。パソコンのカギを開くときの音がうるさい。(1名)	限られた時間内の講義と演習の時間配分は非常に難しいことで、私も毎年工夫しています。また、シミュレーションの課題は授業時間内に終わられるとは限りません。放課後にも宿題となった課題に取り組む時に使用して、自学自習に役立ててほしいと思っています。
			プログラムを実行した際にでるごみファイルはどうにかしてほしい。(1名)	デスクトップでプログラムを実行していますか？新しいフォルダをつくり、その中で実行することを推奨しています。
シミュレーションソフトを自宅で使用できるようにしてほしい。(2名)	使用しているソフトウェアは無料で家でも利用できるもので、授業ホームページにソフトウェアの入手先も記載しています。			

3	制御理論	授業が分かりやすかった。シミュレーションを通じて良く理解できた。制御を勉強出来てよかった。など(22名)	使用したシミュレーションソフトは無料で利用できます。今後授業の内容を活用する際にも、理論とシミュレーションの両面から復習し、理解をさらに深めてください。	
		講義、演習の際のスピードが速いと思った。(2名)	限られた時間内で授業を進める際に、そう感じることもあると思いますが、是非、臆することなくわからないところを積極的に質問するようにして下さい。	
		MaTXを家で起動できなかつたので不便だった。(1名)	MaTXのインストールは試みましたか？授業ホームページにソフトウェアの入手先も記載しています。ソフトウェアの説明書に従えば、それほど難しくないとと思います。	
		単純作業が多くて大変だった。課題は難しく、結構時間がかかった。(1名)	単純作業とは、課題の数値計算のことですか？一つ一つの計算にも意味があるので、「作業」にしてしまうのではなく、結果が出るたびにその意味を考えて、理解を深めてください。	
		教科書と配布資料がどうかかわっているかがわかりづらかつたです。教科書がどう反映しているかよくわからなかつたです。	来年度から教科書の対応部分をより明確に示すようにしたいと思います。	
		内容が難しいのでテストを易くしてほしい。(1名)	良く勉強すると易しい問題に思えるようになると思います。	
		板書のノートをとるのが大変だった。など(2名)	この授業では、計算式の展開を通じて内容の理解を深める必要があるため、必然的に板書量が増えます。私もなかなか大変で、授業日の夜はひじに湿布をすることもあります。教える方も学ぶ方もお互いに頑張りましょう。	
郡	2	熱力学(2)	授業中は、良く理解できた気がするけど、家に帰って自分でやろうとすると分からない。	この授業は、機械系の学生として最も重要な4力学の一つである熱力学の中核をなす範囲である。熱力学(1)が「高校物理」の復習+ α のレベルであったのに対し、この熱力学(2)は大学に来て初めて学ぶ内容ばかりである。理論と物理概念の理解が求められる内容であり、最早公式を覚えただけでは、使い物にならない領域である。内容としては、熱力学第二法則から始まり、エントロピーやエクセルギーの概念を理解し、熱機関やエネルギー変換機器の設計に役立つ考え方を学ぶところである。然も、多くの大学の機械系なので必ず講義され、習得が推奨されている内容であるため、「難しい」という感想があっても、これ以上レベルを下げるつもりは毛頭ない。まさに学習要欄どおり、授業時間の2倍程度の予習復習をしないと、ついていけないカリキュラムにしている。そのため、毎回宿題としての課題を与え、復習テストも授業内でやっている。これらの課題を真面目に自力で学習している学生は、明らかに実力がついており、定期試験でも非常に優秀な成績を残している。一方で、明らかに、他人のレポートを写して提出し、小テストは(配点が小さいので)白紙に近い状態で名前だけ書いて平気で提出する学生は、手も付けられないレベルに留まっている。このように、成績も広いレンジに正規分散しているが、機械系のデファクトスタンダードと考え、基本方針は貫くつもりである。講義の中でも、こうしたことを何回も学生に話をしており、学生たちも(自学自習が必要なことは)「頭では分かっている」が「その気にならない」と自らこぼしている。今期は、熱力学(1)で確実に習得しておくべき内容を、小テストで何回も繰り返して“リマインド”させ、講義の説明は必ずその内容からスタートするようにした。また、エントロピーの部分は昨年より3割程度時間をかけ、よりゆっくりと、より丁寧に講義した。その結果、理解できた人数は昨年より増えている印象である(定期試験では高得点の学生も増加)。このため、来年度も、もう一年同様のやり方を試みる予定である。
			式が多すぎて、どれを覚えたらいいか分からない。試験までに覚えきれない。	
			熱力(1)がよく分かってない気がする。	
郡	3	機械システム設計 (特になかった)	この授業は、機械システム設計演習のバックパーンになる素養を身に付けることを狙っており、熱力学や流れ学の授業とは反対の方針で進めている。つまり、これまでに学習してきたことを俯瞰するような視点に立てるよう、個々の専門技術のつながりを学ぶことを狙っている。前半は、自動車の開発設計で使われる技術を網羅的に紹介し、如何に4力学や材料工学、電気・電子工学が縦横無尽に使われるかを実感させている。後半は、最近広く普及しているコンピュータを利用した複雑なシステムの設計技術を紹介している。ここでは、コンピュータによる設計が、数値シミュレーションの授業で学ぶ「微分方程式の数値計算」ばかりではなく、もっと実際の局面での「合理的な判断」のツールとして使われることを教えている。毎回出す課題は、講義で話をしたことに関して、具体的なアプリケーションを自分で調べ、自分の提案を述べさせる形式としている。このため、他人のレポートを丸写しする学生は余りおらず、実質的にも、学習要欄で求められている程度の自習をすることになっている。学生から特にクレームや嘆願もなく、「何となく、ためになった気がする」といった感想を聴いている。来年度も、講義の中のトピックスは、一部時勢で話題となっているものに替えるものの、大枠はこのまま継続してゆく予定である。都合が合えば、企業の第一線で活躍している設計技術者を招き、講演をお願いすることも考えている。	

渡邊	1	技術日本語表現技法CDクラス	プレゼンの準備にもう少し時間が欲しかった	時間配分は課題および演習の出来具合から毎年微調整をしています。ですが、レポート執筆・プレゼン資料準備は基本的に自宅学習にて行うものです。計画的に時間を利用すれば十分な作業時間があつたと考えます。時間の使い方を習得するのも大学で得る貴重な技術です。	
	2	数値シミュレーションCDクラス	コメント特に無し		
目黒	2	CD	材料力学(2)	授業プリントの計算のところに説明を追加して欲しい。講義中には分かって後でどうしてこうなったか分からなくなる。	基本的な問題だけなので、講義中に理解できて、後で分からなくなるのは、聞いて分かつてもりでも、自分の頭で答えを導くことをしていないためと思います。聞くだけでなく、主体的に問題を解く努力をして下さい。
				お大事に	
	3	宇宙システム学	内容がメチャメチャ難しく死にそうでした。	難しいが、なんとか理解した。という事でしたら、大いに結構。全てを噛み砕いてもらって教わるだけでは自分のものになりません。	
			目黒先生の授業を前半にした方が五家先生の授業を聞き易いと思います。 授業の順番に関しては問題ないと思います。総じて興味深い講義でした。 今回のように講義は五家先生、→目黒先生の順番が良いと思う。 現在ISSで使用されている計測装置の話など、興味深いお話が聞けて楽しかった。機会があれば講義の一環でJAXAやISASの見学へ行きたい。		実際の宇宙環境、システムの話が前半にあるべきか、基本的な理論を理解してから実際の宇宙環境、システムの話聞くべきか、悩ましいところですが、来期はこのまま行うことにします。過去にワークショップに参加し、レポートを書いてもらったこともあり。授業とのタイミングを見て、学生諸君のためになる見学、講演会があれば授業に取り込むつもりです。
3	設計演習(2)	ORIGAMIの説明をもっといねいにして欲しかった	設計評価方法の一つとして説明しており、時間の許す限り丁寧に説明しているつもりです。与えられるを待つのではなく、積極的に求める姿勢を期待します。		
***	2	システムダイナミクス及び演習	パソコンでの授業はよく理解でき楽しかった(2)	システムダイナミクスは動的変化を調べる科目であり、抽象的で分かり難い面がある。そのためパソコンのシミュレーションを利用して理解を深めようとしている。	
			目的があまり見えなかった(4)		
			テストでどんな問題が出るか読めず勉強のしかたが分からない(3)		試験の成績ばかり気にしないで、内容の理解を深める勉学態度を身に付けてほしい。
			基礎知識が必要だと感じた(1)		
			制御のことについて少し理解できた(1)		
			補講の情報が遅すぎる(2)		今後連絡を早めたい。
			期末試験の受験者 45名 平均出席率 94% 不合格者 5名は出席率92%以上でありながら試験成績10点以下		
*** 三宅 佐藤	2	電気基礎実験	電子回路の授業と一緒に授講することによって理解が深まったので良かったと思います。	基本的な項目についてのチェックポイントは先生方で違いはありません。しかしながら、各項目における要求度は先生方によって異なる場合があります。それは先生方の考え方・教え方のポリシーが反映しているためで、それが三者三様に結果的に見えてしまったのだと思います。	
			担当する教員によってレポートの評価が厳しかったり、易しかったりするのはどうかと思う。		実験機器は順次、入れ替えていきます。
			先生によってレポートの見方が違のどうかと思う。3人の先生によって違のはおかしい。		
			実験器具がカスすぎた。先生によってレポートの評価が違うのがおかしい。		
			パソコンのフリーズが多すぎる。実験がスムーズに行えなかった。		
			小さなミスがあると全く動かないので苦労しました。回路を組むのは楽しかったです。		

田中	2	電子回路	・アンケート何回目や！めんどい	アンケート時期が集中しているため。時期をずらすなどの考慮は確かに必要かもしれない。特にコメントを書かせる形式であれば、予告をして2週間ぐらいにわたって、計画的にアンケートを取る必要があるかも知れない。
			・電気基礎実験でやったことをこの授業でもう一度やる感じだったので、逆にこの授業で習ってから、その内容で実験でやりたかった。	この意見と同様の学生が多いと思われるが、この疑問については、先に実験を体験して、自分で考えてレポートを書いた後に講義を受けた方が、理解した内容が身につくと説明している。しかし、まだ理解できないようだ。講義を先にすれば、レポートは講義ノートの丸写しになってしまって、まったく学習しないことは目に見えている。
			中間テストを掲示してほしいかった…	授業中口頭で開催を通知したためか？ただ、何度も授業中に通知している。場所がわからなかった学生かも知れない。
			・人が多くて、教室の広さが足りないと思った。	7号館の教室で100人以上の登録者数なので、確かに3人掛けが窮屈そうである。例年、同じような人数なので、教室配当を考慮していただけるよう学生支援センターに頼んではみるが、教室の数などの関係で難しいかも知れない。
			・難しい(内容)	なお、これまで、この科目について、特に難しいという感想を聞いたことがなかったので、どの部分を指しているのかが、正直わからない。今後、調査する予定。
				(田中からのコメント)コメント中心にアンケートを取る旨をあまり説明していなかったために、コメントが少なかったようである。来年度からはコメントを中心に書いてほしい旨、説明する予定。
田中	3	信号解析と電機制御	・この授業とは直接関係ないですが、来年度はジャイロ理論(特別講義)を受けたいです。	授業の最後にジャイロの実験の話をしたためだと思われる。ただ、この回の講義は、実験と講義をミックスしたものであり、特に学生の印象に残ったようである。このような講義を今後も増やしていきたい。
				(田中からのコメント)コメント中心にアンケートを取る旨をあまり説明していなかったために、コメントが少なかったようである。来年度からはコメントを中心に書いてほしい旨、説明する予定。
田中 三宅	2	電気回路及び演習	合同演習のとき、席があまり空いていなかった。	<p>・電気物理と比較し点数が取れている(真に理解しているとは限らないが)せいか、実質的なコメントは本当に少数であった。 (#比較的二次元までなら理解できるのではと思います。電気物理で行ったような3次元空間になると途端に理解できなくなるのではと考えてしまいます。)</p> <p>・頂いたコメントに関しては真摯に受け止め、来季の授業で改善を図る。 (演習時の教室やquizプリントの返却など)</p>
			アンケートめんどい。	
			「分かる人、分からない人」と理解度を確認してくれたので良かった。 (挙手をする人が少ないので意味がなかったが…)	
			計算ミスがあった。	
			Quizのプリントを返してほしいかった。	
金宮	3	専門学科の英語研究(2)	英語は疲れます	評価基準を途中で厳しくしました。
			テストの問題数の変更が痛かった	
			単語力が身に付きました	
目黒 金宮	3	機械システム設計演習(2)	楽しかった	金宮:プログラミング班とデザイン班に分けたので、説明の時間が足りなかったでしょう。今後、分けずにやりたいと思います。
			基本的な設計の仕方を宇宙、ロボットが応じてすることができて良かった	
			設計のプロセスを知れて良かった	
			ORIGAMIの説明をもっといねいにして欲しかった	
			説明をもっとして欲しい。TAの人感謝	
			ネンチェフさんはやる気があるのですか？	
			プログラミングのヒントの説明をする際だけ早口になって聞きとりづらい。	

永野	2 AB	数値シミュレーション	課題の難易度にムラがあった気がします。もう少し難しさをそろえていただけると分かったと思います。	課題の難易度を揃えることがそれほど重要だとは考えておりません。時には単純な課題で理解を深め、時には難しい課題で問題解決の糸口をつかむことも大切ではないでしょうか。
			特に困ったことはありませんでした。	それは何よりでした。
			新しいプログラミングの知識をあたり前のように課題として出題するのはおかしい。出席しなくなった生徒の責任を考えるべきだ。	課題で必要な知識は授業中に全て解説したはずですが、一方で、授業で教えられたことしかクリアできないのだとすると、卒業研究や会社に入った時に新しい問題に直面したらどうするのでしょうか。本科目の課題提出までには1~2週間の猶予がありました。自分で調べ、考え、解決する能力を培うことこそが重要だと思います。また、授業に出席しなくなった生徒がいたとしてもそれは生徒各人の意思決定であり、教員が要求したわけではありません。実際、多くの学生が単位を取得しています。
1 AB	機械工作実習	始めから延長してもしょうがないと開き直ってゆっくり授業していて納得いかなかった。	教員側は学生が可能なかぎり理解しやすいように努めています。時間に間に合わせようと教員が急ぐことで学生が習得すべき知識が損なわれるのであれば、急いで授業することのデメリットのほうが大きいと思います。	
		もう少し丁寧な説明がほしかった。	教員が全てを説明することが生徒のためになるとは限りません。生徒自らが調べ、考えることも大切です。一方で、授業中に不明な点があれば手を挙げて質問するなど、生徒側から積極的に取り組んでくれることを望みます。	
佐藤	1	工業力学	各章の3回目の講義で解説を聞いてからレポートをやりたいので、レポートの提出日を次の章の1回目にしてください。	この点については講義日程を計画した際に検討しましたが、小テストの予習を兼ねることが効果的と判断して、今回の日程を採用しました。講義中何度も話してきましたが、教員の解説を聞いてからその通りに問題を解くことを重視するのではなく、各自がよく考え問題を自分の力で解くことが非常に大切であると考えていますので、その点からも次週に提出期限を延ばすことは今後も考えていません。受動的に講義での解説を待つのではなく、不明な点があれば、レポートの提出前に直接質問をしてください。
			第7章の解説を詳しくやってほしい。	第7章については、小テストの結果からクラス全体の理解度が低いと判断し、講義開始時に連絡した日程を変更して、多くの解説時間を取りましたが、それでも不十分であるという意見ですね。たしかに第7章は理解しにくい箇所が多く、自力では回答にたどり着けない学生が多く見られます。本年度も時間の許す範囲で調整は行ったのですが、次年度からはさらに配慮するように努めます。
	3	ロボット工学(2)	授業に対する事前連絡のメールはもう少し早く送ってほしかったです。	講義の進み具合の確認しながら、次回の講義内容を調整しているために起こった問題です。本講義は非常に重要な専門分野科目であるため、学生の習熟度を高く意識して講義を進めています。その確認に時間がかかり連絡が遅れましたので、次年度はできる限り計画通りに講義を進めることを検討し、改善に努めます。
大谷	1 AB	工業力学	レポートの問題は簡単でよいから全問解説をして欲しい。(同種の意見11通)	1年生および再履修者をいれて受講者64名です。意見を書いた学生は約25名です。もっと多くの学生からの意見が欲しかった。さて、私が一番問題だと感じたことは、レポートで出題した解答を何がしかの方法で配布あるいはHPに掲載して欲しいという意見が多いということです。私の授業で毎週出題する問題は、その週の講義を真剣に聴いていけば容易に解答できるものです。正解は教科書巻末に記述されています。正解までの算出過程などは複数あることは日ごろの講義でお話しております。誤った答えを出すことがものを設計する上で一番危険なことです。解答に至るまでの過程を複数試してみることが重要です。それが講義の復習となり、それが高校の授業とは大きく異なる点です。したがって、今後も私はレポートの模範解答を授業内で解説したり、あるいはプリントで配布するつもりはありません。どうしても判らない時は自分で解答したものを持参の上大谷に会いに来て下さい。難しい、単位をくれと書いた学生は、自分自身どれだけ復習しているのでしょうか？単位を取ることが大学へ入学した目的なのではないでしょうか？そこをじっくり考えた上で今後の修学姿勢を変えてください。
			授業中の演習が焼くにたった。	
			難しい。(同種の意見他2通)	
			今までの授業と異なり通年になって理解しやすくなった。(多分再履修生)	
			授業でやっている問題とレポートの問題でレベルに佐賀ありすぎる。	
			楽しかった。	
			今までの授業と異なり通年になって理解しやすくなった。(多分再履修生)	
			今受けている授業が一番いい授業です。	
何でも良いから単位くれ。(単位くださいの趣旨他4通)				